



ADWAYS Business Report
For The Year Ended December 31, 2023

ADWAYS

株主の皆様へ

2023年12月期の業績と変化について

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。初めに、本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の被害によって、お亡くなりになられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われたすべての方々に心からお見舞いを申し上げます。

2023年は、長く続いたコロナ禍が明け、アフターコロナの時代へと歩が進みつつあり、経済環境が世界的に変化し続けた1年でした。当社グループの売上の中心を占めるインターネット広告市場も、取り巻く環境の変容により、新たな局面を迎えております。

このような状況の中、当社グループの2023年12月期の業績は、取扱高は590億6百万円、営業利益は9億21百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は9億66百万円と、前年に比べ減収減益となりました。

2023年10月31日には、連結業績予想及び、配当予想を修正することを決議し、株主の皆様に向けてはその内容と背景をお知らせさせていただきました。

現在、市場のコモディティ化、市場成熟化などの影響により、当社グループの売上の中心を占めるゲーム及びマンガアプリ領域の広告出稿需要が、国内国外を問わず、縮小しつつあります。こうした環境変化の中、新たなシェア獲得に向けた効果的な施策や、従来とは異なるマーケットに進出するといったリカバリー案を早急に講じられなかったことが、予想の修正を発表するに至った主要な要因であると考えております。

なお、当社グループは、2023年3月に、「全世界に「なにこれ すげー こんなのはじめて」を届け、すべての人の可能性をひろげる「人儲け」を実現する。」というパーパスを新たに制定いたしました。

そして、5月にはパーパスの実現に向け、より積極的な取り組みを促進していくという決意を込めて、2023年12月期から2025年12月期を「挑戦する3年」と位置付け「2025年12月期に営業利益30億円を目指す」という新たな中期経営計画を策定し発表いたしました。

しかし、現状の業績見通しや市場環境の動向を鑑み、現在、本中期経営計画を達成していくため、一部戦略の見直しの検討を進めております。

今後、当社グループは、中期経営計画の達成、継続的な事業成長に向けた取り組みを強化していくと共に、持続可能な社会の実現に貢献することを目指したサステナビリティ活動の取り組みも推進してまいります。当社グループが掲げるパーパスを実現していくため、グループ社員、協業パートナー様、お取引先様などと想いを一つにし、より社会から信頼される企業になれるよう努め、株主の皆様にも利益を還元できるよう、引き続き邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの取り組みと指針についてご理解いただき、今後も変わらないご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 山田 翔 Sho Yamada



中期経営計画

アドウェイズグループの中期経営計画

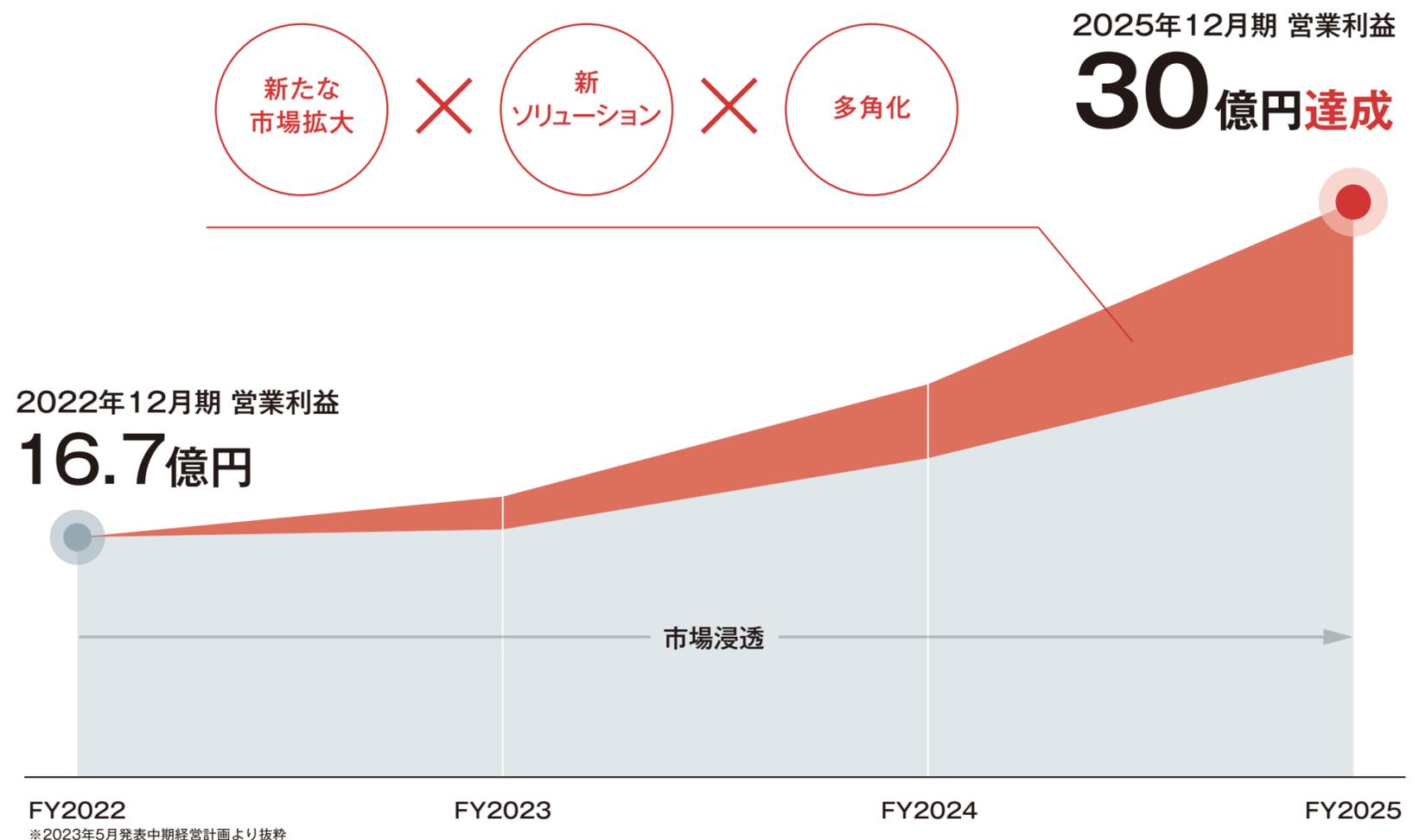
2023年12月期 - 2025年12月期 中期経営計画

当社グループでは、“全世界に「なにこれ すげー こんなのはじめて」を届け、すべての人の可能性をひろげる「人儲け」を実現する。”をパーパスに掲げ、パーパス実現に向けた積極的な取り組みを進めております。また、その決意を込め、2023年12月期から2025年12月期を「挑戦する3年」と位置付け、昨年、中期経営計画を策定いたしました。設立当初より手がけてきたインターネット広告事業におきましては、広告に関わる全てのステークホルダーの成長実現を目指し、領域の拡大を図ると共に、本質的な広告価値の追求、テクノロジーを駆使した新たな広告表現の提供に尽力いたします。

かつ、広告事業以外でも、新たなソリューションの提供や事業の多角化を進め、全世界に「なにこれ すげー こんなのはじめて」を届けてまいります。

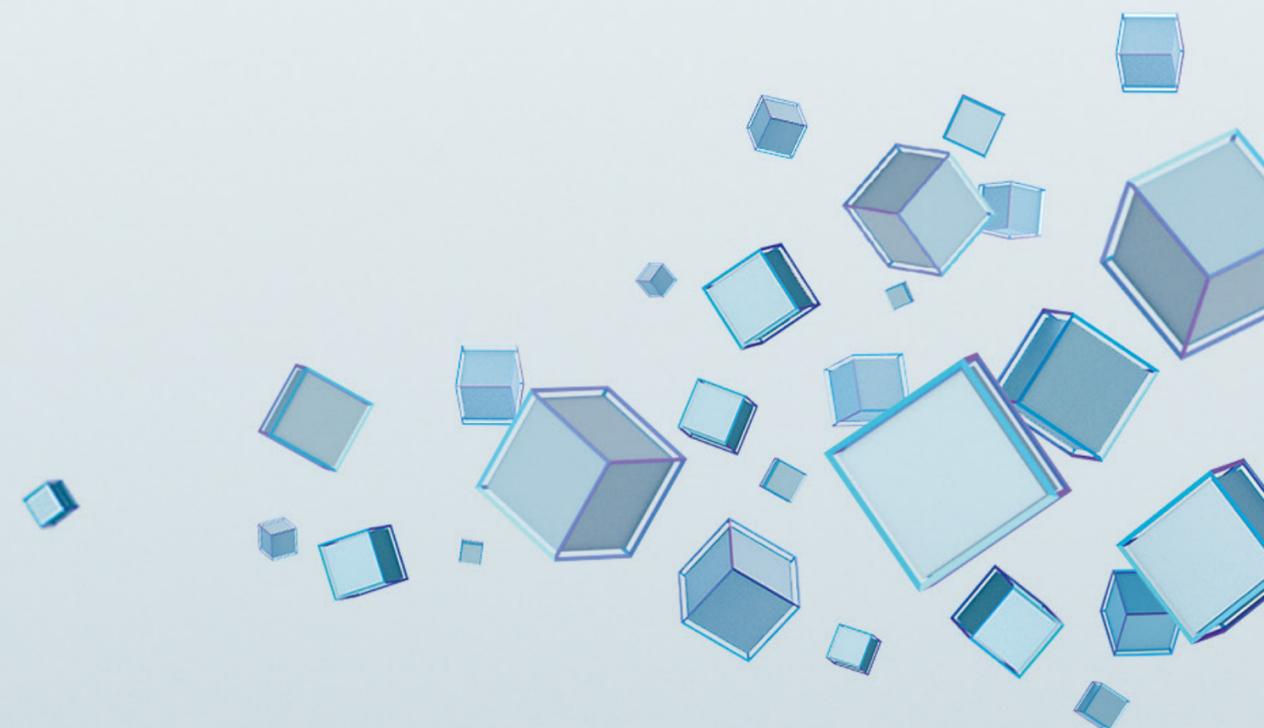
また、当社グループで働く社員に対しても、多様性を尊重し、自分らしく活躍できる環境の醸成、持続的な挑戦が可能となる新たな取り組みを加速してまいります。そして私たちは、当社グループに関わるすべての方々の可能性をひろげる「人儲け」の実現に向け、尽力してまいります。

2025年12月期に営業利益30億円をめざす



事業概況

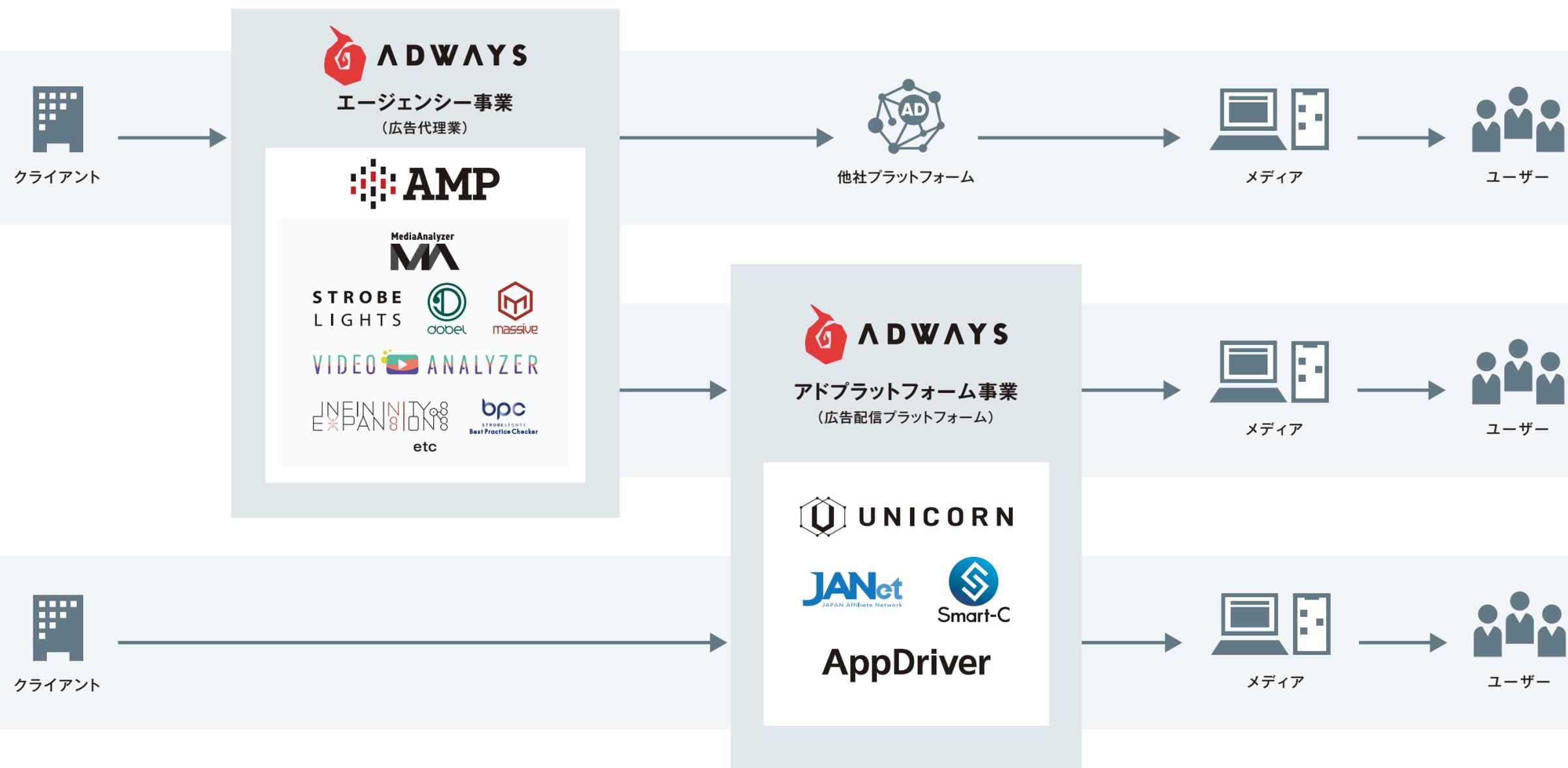
Business Overview



アドウェイズグループで展開する広告事業

アドウェイズグループは、本質的な価値に向き合い事業を展開しています

当社グループでは、日々さまざまな業種のクライアントのデジタルマーケティングにおける課題と向き合い、課題抽出と解決のため、幅広い事業に取り組んでおります。



エージェンシー事業(国内)

Domestic Agency business

顧客の事業成長ドライバーとして、 マーケティングDXを実現

エージェンシー事業では、オフライン&オンラインの統合プランニングによる、包括的なマーケティング支援に取り組んでいます。

ナショナルクライアント(ブランド広告主)へのアプローチや、“テレビとデジタルの統合プランニング”による“フルチャネル※1”“フルファネル※2”を意識した、より効果的なマーケティングプランを実行するため、広告という枠組みに囚われず、マーケティングコンサルタントとして、あらゆる課題解決に取り組めます。また、「人」による高い運用力・創造力とAIを活用した高度な「マーケティングテクノロジー」を融合し、本質的な広告価値を生み出すことで、クライアントの事業成長を包括的かつ効率的に支援いたします。

※1) フルチャネル 集客するための媒体、経路などを広く活用する事。

※2) フルファネル 消費者の商品に対する認知や検討、購入(利用)など多くの行動に対応する事。

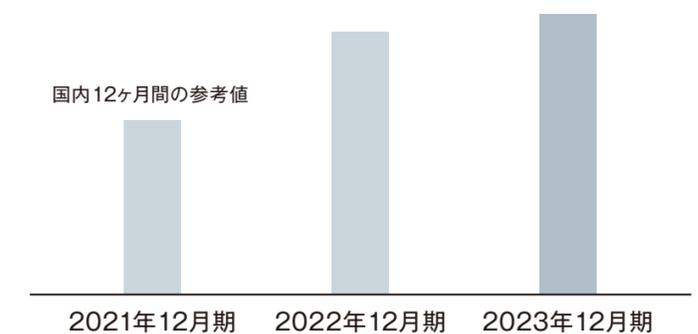
博報堂DYグループとの戦略的パートナーシップ

両グループのノウハウ、強みを掛け合わせ、より強固な協力体制を構築

Hakuhodo DY holdings



博報堂DYグループ協業売上総利益推移



※2021年12月期は決算期の変更に伴い国内会社の会計期間が9ヶ月間のため、2021年3月期第4四半期(会計期間)を加え、12ヶ月間の数値としています。

次世代のデジタル広告最大化ソリューション

「AMP (Amplify Marketing Program)」シリーズによる
データドリブンマーケティングの実現



主要メガプラットフォームへの対応が完了

MediaAnalyzer
MA4G
Google

MediaAnalyzer
MA4M
Meta・Facebook
・instagram

MediaAnalyzer
MA4TT
TikTok

MediaAnalyzer
MA4X
X (旧Twitter)

エージェンシー事業(海外)

Overseas Agency business

国境を越えたマーケティング支援

アドウェイズグループでは、2003年の中国進出を皮切りにアジアを中心にグローバル展開を推進しています。

ブランド広告主への包括的なデジタルマーケティング支援や、アプリ開発者へのアプリマーケティング支援からライブコマース事業、デジタルメディアやインフルエンサーなどのプランニング/運用、CRM^{※3}運営まで、デジタルマーケティングを通じて、クライアントの事業成長を支援いたします。

※3) CRM(Customer Relationship Management) カスタマー リレーションシップ マネジメントの略で「顧客関係管理」を行う事。

台湾 「IDEA Push」「UNICORN」による価値の提供

台湾でのUNICORN広告配信を開始。独自ソリューションを用い、台湾主要代理店が手掛けていない事業領域へ参入。

LINE公式アカウント内
広告配信支援ソリューション



UNICORNによる
ブランド広告領域の強化



中国

伊藤忠商事子会社の伊藤忠繊維貿易(中国)有限公司、上海橙娛文化伝媒有限公司と中国ライブコマース事業合併会社を2021年に設立

ライブコマースだけでなく、コンテンツ制作やSNSアカウント運用、商品開発など、クライアントのブランド価値の最大化に貢献。



アドプラットフォーム事業



チャンネル×提供価値×アカウントの 3軸で立体的に拡大

全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」の2023年12月期第4四半期の取扱高は、13億70百万円となり、前四半期比で121%と伸長しており、当社グループの主力サービスとして成長しております。Apple Search Ads | Todayタブ、検索タブ、検索結果、プロダクトページでの自動最適化配信に加え、コネクテッドTVやOTT※4等のサービスと連携し、配信面においても拡大を続けています。また、試験運用を経てYouTubeへの対応が完了し、広告配信メニューの提供を開始いたしました。さらに、近年拡大が進むデジタルサイネージ／リテールメディア市場に対し、デジタルサイネージの効果測定や簡易運用管理が可能なSaaSを開発するイスラエルの企業「Parsempo Ltd.」と協業し、リテールメディア向け広告配信プラットフォーム及び統合型デジタルサイネージの提供を開始いたしました。

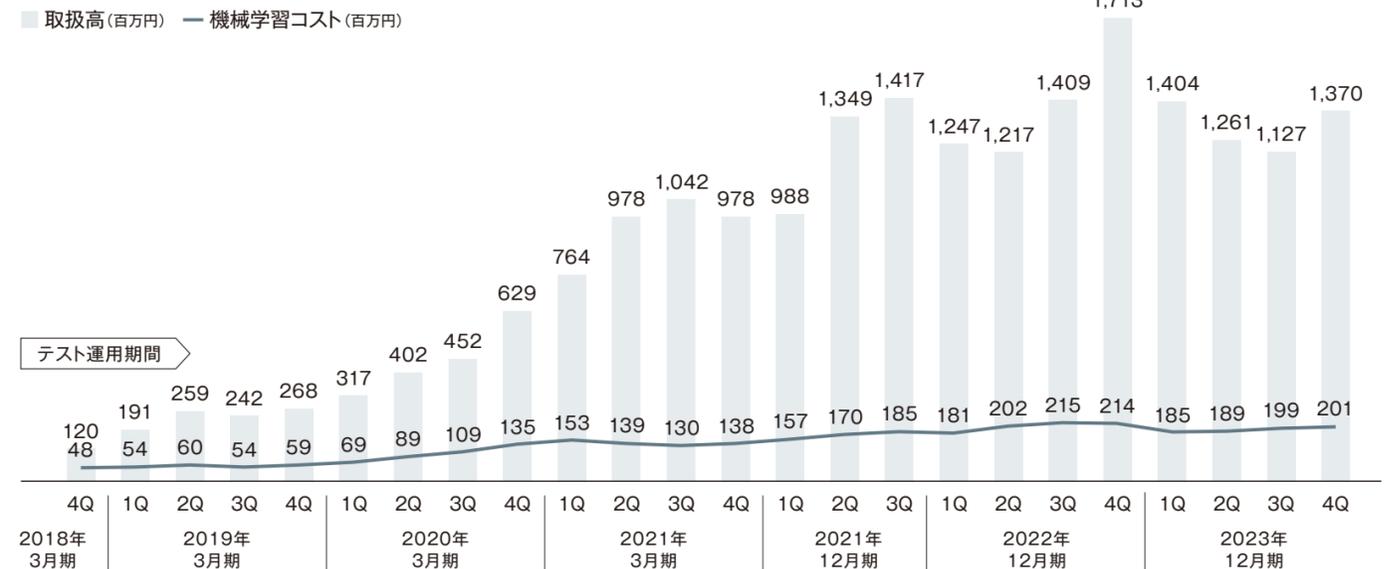
UNICORNでは、クライアントのビジネス拡大を支援すると共に、ユーザーへセレンディピティ※5のある出会いを提供し、ステークホルダー全方位に価値のある本質的な広告を実現してまいります。

※4) OTT(Over The Top) インターネット回線を通して行われるコンテンツ配信サービスの総称

※5) セレンディピティ 「思いもよらなかった偶然がもたらす幸運」を意味する言葉

UNICORN 取扱高 / 機械学習コスト推移

2023年12月期第4四半期の取扱高は、前四半期比で121%と伸長



2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更いたしました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とは取扱高が異なります。(他商材も扱う部署の取引分は加えておりません)

YouTube×コンテキスト配信メニューの提供を開始

ブランド広告主のYouTube広告パフォーマンス最大化を支援

ブランドと親和性の高い
コンテンツへの配信



映像説明情報(タイトル・説明文・タグ等の情報)を元に、UNICORN独自の解析テクノロジーを駆使し、関連性の高い動画へ配信。

ブランドセーフティを担保



ブランド毀損に繋がるキーワードを設定することで、対象キーワードを含むチャンネルを除外し配信。

アドプラットフォーム事業



アフィリエイト広告を新たな概念へアップデート

ADWAYS DEEEでは、広告の価値を追求し、新しい広告表現や広告効果最大化などテクノロジーを駆使することで、ステークホルダーの持続成長をサポートするプロダクトを提供しています。サービス提供開始20周年を迎えた国内最大級のアフィリエイトネットワーク「JANet」をはじめ、アプリ領域に特化したアフィリエイトネットワーク「Smart-C」、国内最大級のオファーウォールネットワーク「AppDriver」、アフィリエイト広告事業の特性を活かしたインフルエンサーマーケティングなど、「つくろう。良かったがめぐる世界を。」をミッションに、ステークホルダーの想像を超えた喜びやワクワクを生み出し、アフィリエイト広告を次の世代へ進化させてまいります。

国内最大級のアフィリエイトネットワーク「JANet」サービス提供開始20周年



アフィリエイト広告最適化、収益最大化を支援「JANEEE Advertising Report」

パートナーの事業成長貢献のみならず、アフィリエイト広告の透明性、公平性の向上、健全化を推進

JANEEE Advertising Report

各種データを統合



- JANetが保有するクリック数や成果発生件数データ
- パートナー様ご協力のもとに取得した集客データ
- 専用ツールを活用したユーザーニーズ、トレンド関連データ

レポート一元管理



収益化までの改善活動、効率化を支援



長年の運用ノウハウを元にしたコンサルティング支援

その他事業（広告以外）

Other business

広告事業以外での新たなソリューション、 事業の多角化を推進

当社グループでは、広告以外の事業における目指すべき姿、ステークホルダー全ての成長を支援するため、また、より良い環境や社会の実現に向け、広告以外でもさまざまな事業を展開しています。パーパスである“全世界に「なにこれ すげー こんなのはじめて」を届け、全ての人の可能性をひろげる「人儲け」を実現する。”に向け、新たな体験、価値の提供を進めてまいります。

VTuber Business

VTuberプロデュース事業

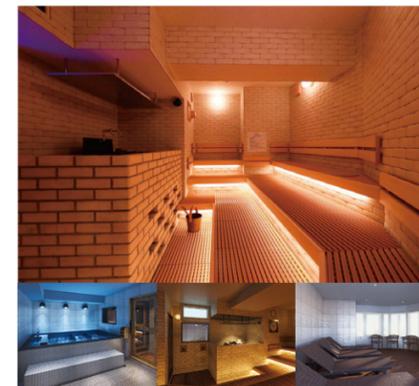


エンターテインメントでの新しい体験を提供



New Contents Business

会員制定額サウナ



最新技術を用いた店舗運営で、
現在都内4店舗を展開

喫煙者のためのカフェスペース



快適な喫煙環境提供により、
ルール違反のない社会へ貢献

キャンプ用品等製造

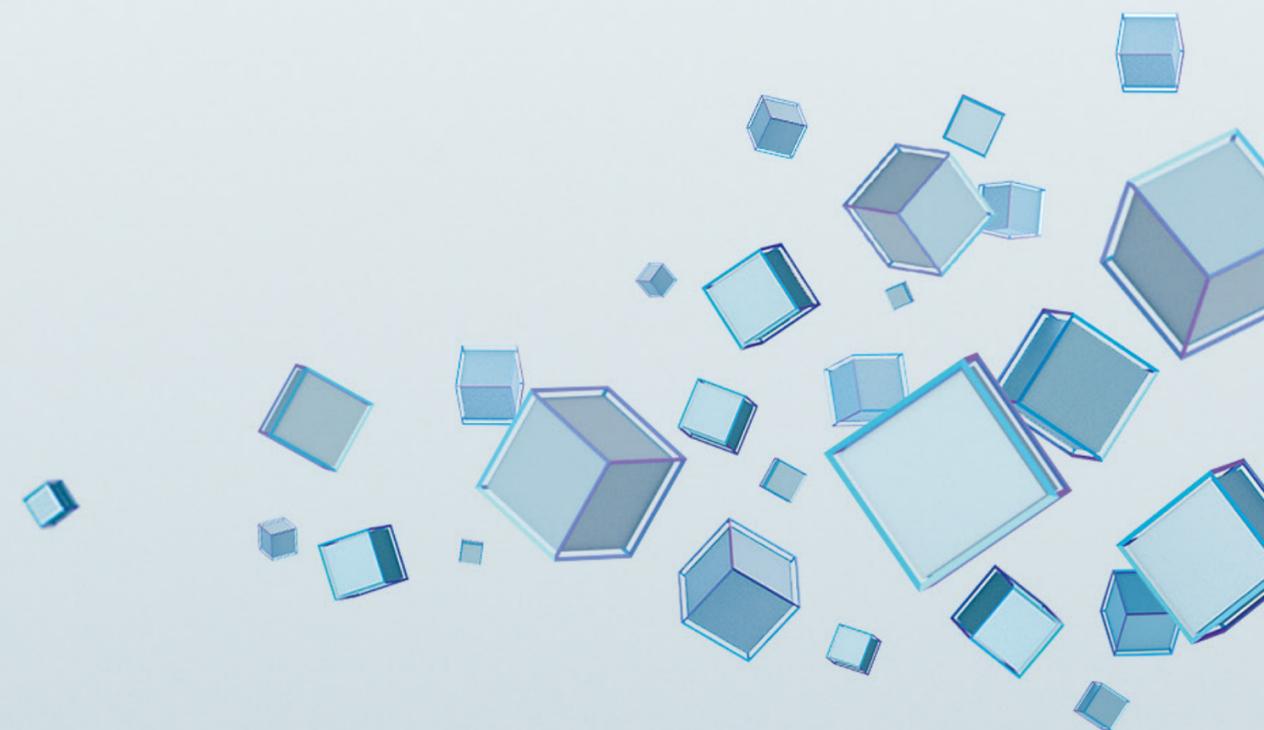
土田昆衛製作所



日本製×新体験による
新たな価値の提供

業績・財務ハイライト

Financial Highlights

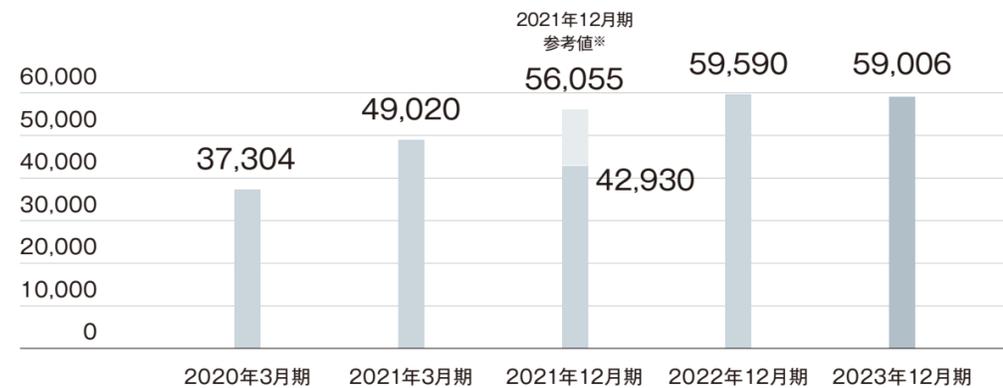


業績・
財務ハイライト

連結損益計算書の概要

	前期 2022年12月期	当期 2023年12月期	増減率(額)
取扱高(百万円)	59,590	59,006	▲1.0%
営業利益(百万円)	1,671	921	▲44.9%
経常利益(百万円)	1,506	1,313	▲12.9%
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,536	966	▲61.9%
1株当たり当期純利益(円)	63.49	25.07	▲38.42

取扱高(百万円)



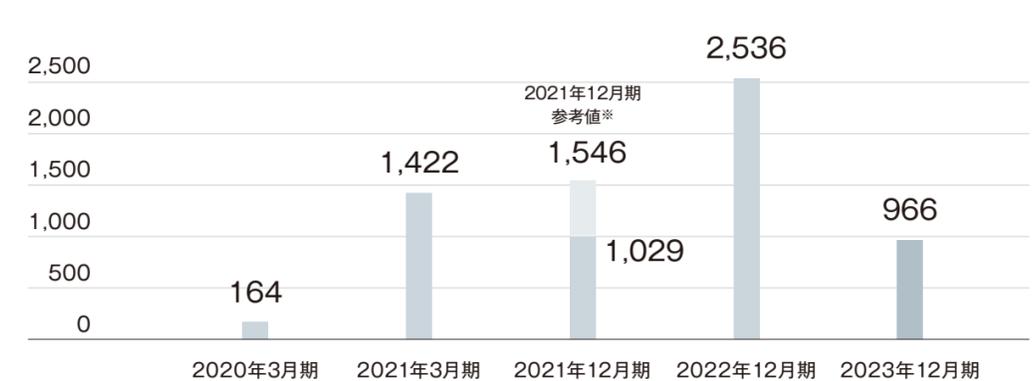
営業利益(百万円)



経常利益(百万円)



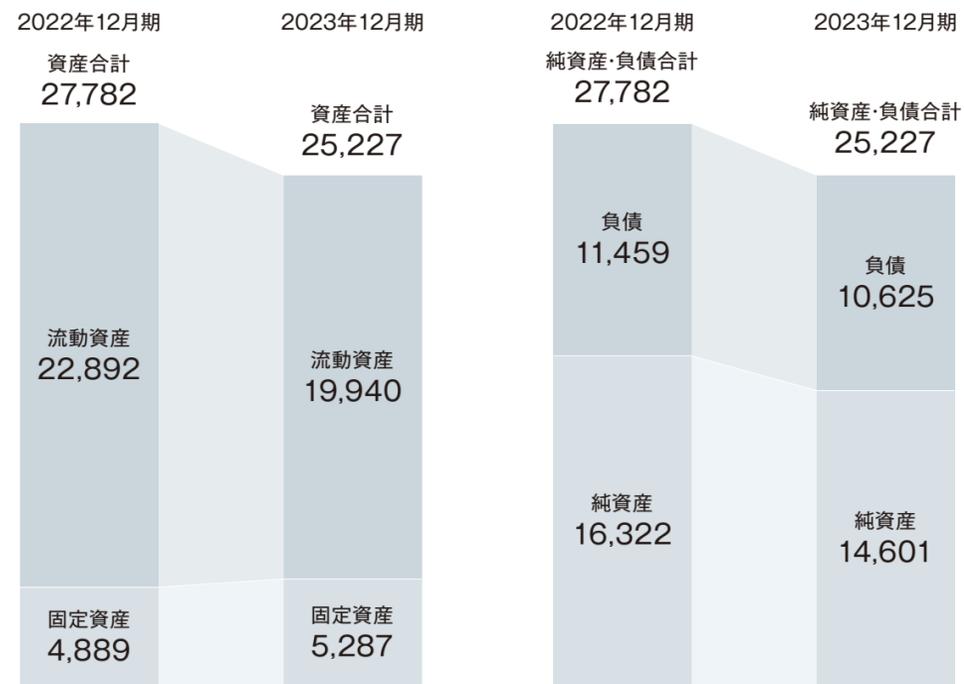
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



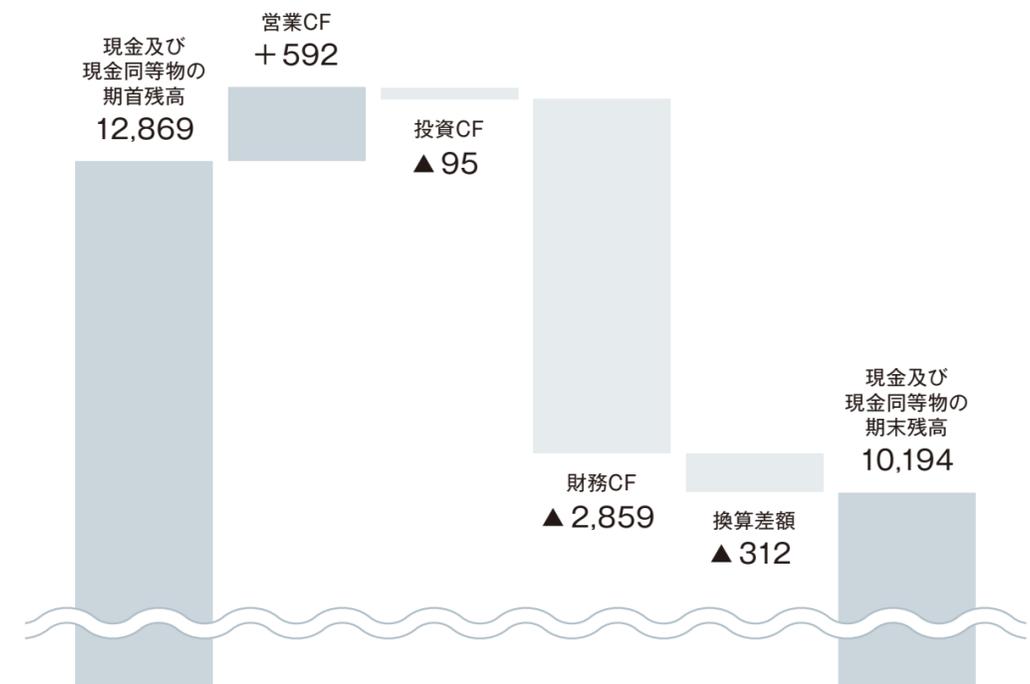
** 2021年12月期は決算期の変更に伴い、国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間となります。本資料では2021年12月期に2021年1月～3月の国内子会社の実績を加えた「2021年12月期参考値」を記載しています。

業績・
財務ハイライト

貸借対照表 (百万円)



キャッシュ・フローの概要 (百万円)

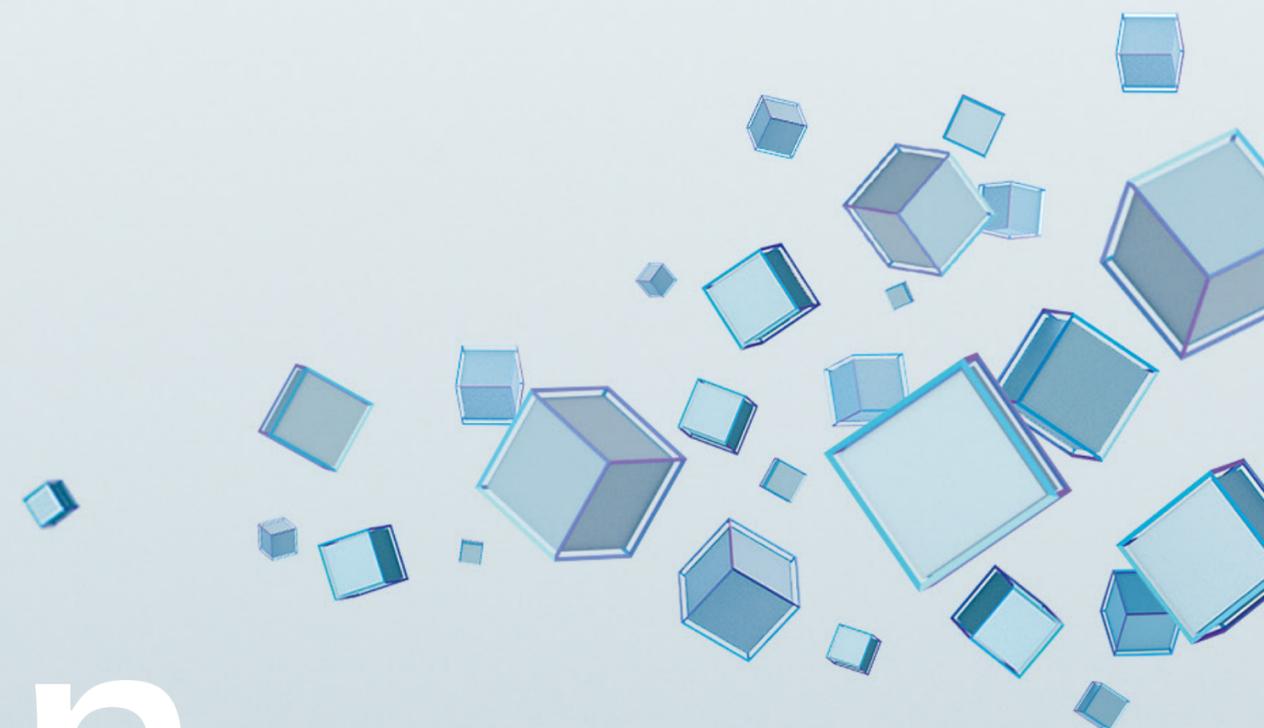


2024年12月期 業績予想 (百万円)

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2024年12月期業績予想	62,000	14,200	770	1,000	580
2023年12月期実績	59,006	13,524	921	1,313	966
増減率	+ 5.1%	+ 5.0%	▲ 16.4%	▲ 23.8%	▲ 40.0%

株式情報

Stock Information



株式情報

配当方針

2024年12月期以降以降の配当方針

2024年12月期からの3ヶ年（2024年12月期～2026年12月期）の普通配当につきましては、第1期を除く当事業年度を基準とした配当性向（2024年12月期は第25期であるため24%）より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり3円00銭を基準に毎期10銭を増配した1株当たり配当金（2024年12月期は3円00銭）のどちらか高い方を目標といたします。ただし、大きな業績の変動や大規模なM&A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。

第25期 2024年12月期	第26期 2025年12月期	第27期 2026年12月期
配当性向24% もしくは 1株当たり3円00銭 の高い方	配当性向25% もしくは 1株当たり3円10銭 の高い方	配当性向26% もしくは 1株当たり3円20銭 の高い方

株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場（証券コード:2489）
 決算日 12月31日（第22期から12月31日に変更）
 定時株主総会 3月
 売買単位 100株
 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 TEL.0120-782-031（フリーダイヤル）
 公告掲載方法 当社ホームページにおいて提供する。
 ただし、やむを得ない事由により上記において提供できないときは、日本経済新聞に掲載する。

株式状況 (2023年12月31日現在)

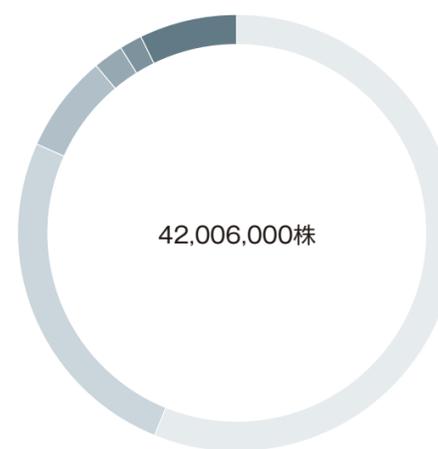
発行可能株式総数 153,150,000株
 発行済株式の総数 42,006,000株
(自己株式2,923,880株を含む)
 株主数 14,622名

大株主(上位10名)

株主名	保有株式数(株)	保有比率(%)
岡村陽久	8,149,300	20.85
伊藤忠商事株式会社	4,000,600	10.24
株式会社博報堂DYホールディングス	3,639,100	9.31
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	2,837,800	7.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,421,000	6.20
山田翔	2,045,800	5.23
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	485,839	1.24
西岡明彦	396,000	1.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	220,100	0.56
ゴールドマン・サックス証券株式会社BNYM	183,100	0.47

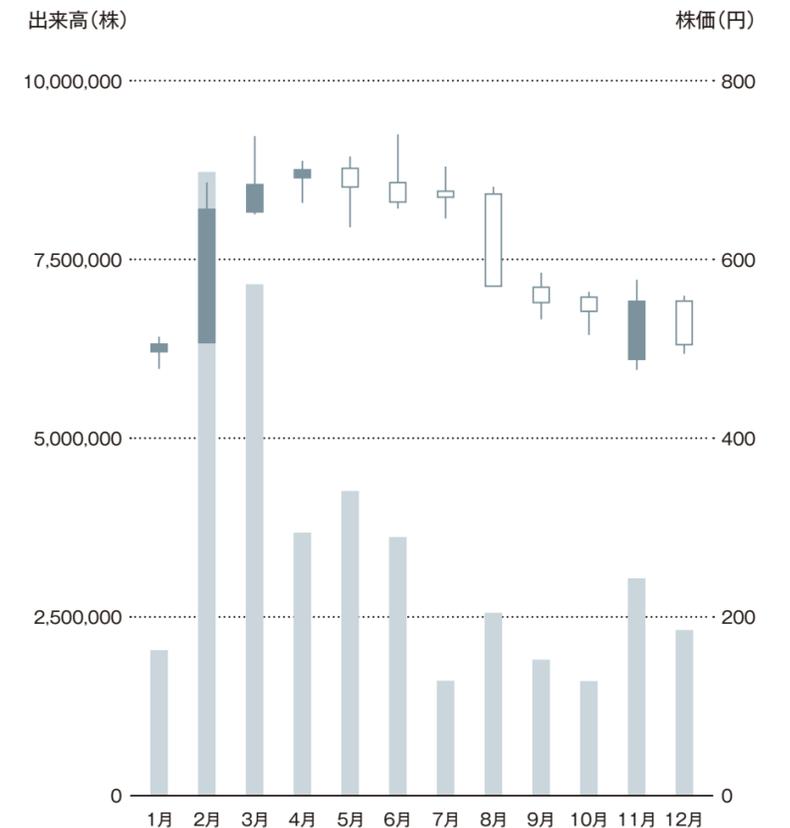
※自己株式を除く

株式の所有者別分布状況



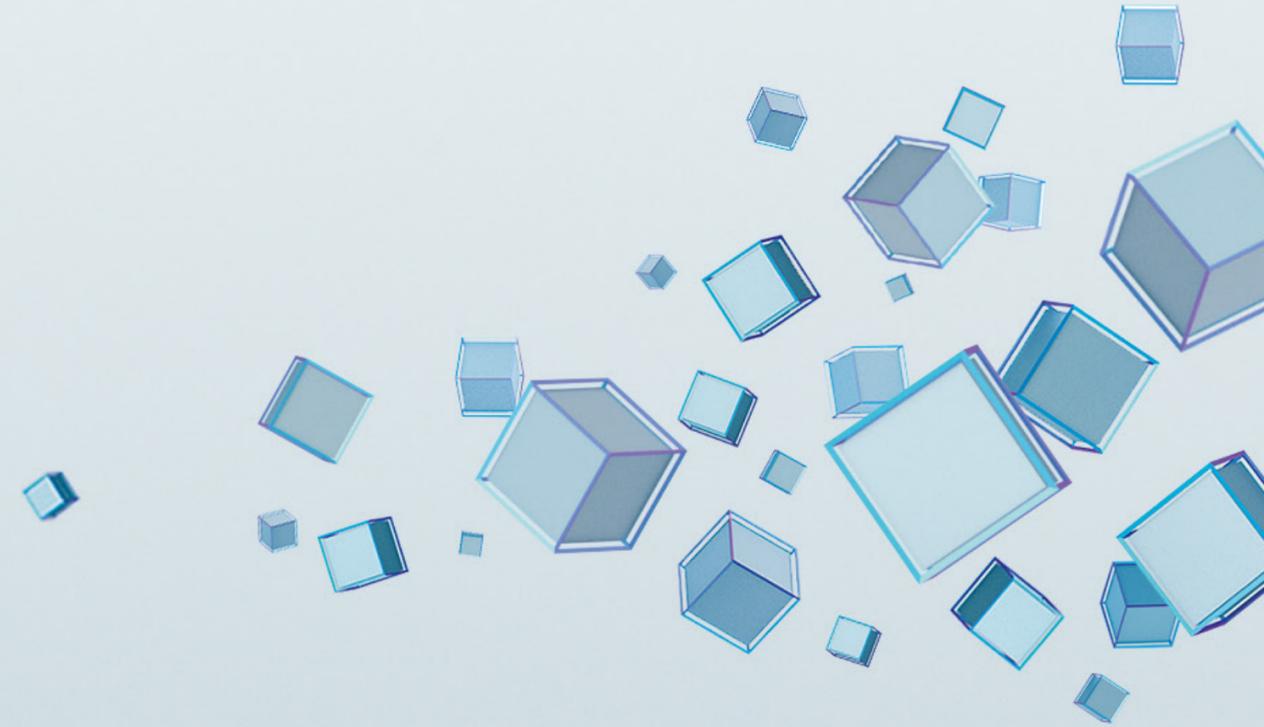
個人・その他	23,653,733株 (56.31%)
その他国内法人	10,742,001株 (25.57%)
金融機関	2,979,800株 (7.09%)
外国法人等	935,379株 (2.23%)
証券会社	771,207株 (1.84%)
自己株式	2,923,880株 (6.96%)

株価推移 (2023年1月～2023年12月)



会社情報

Company Information



会社概要

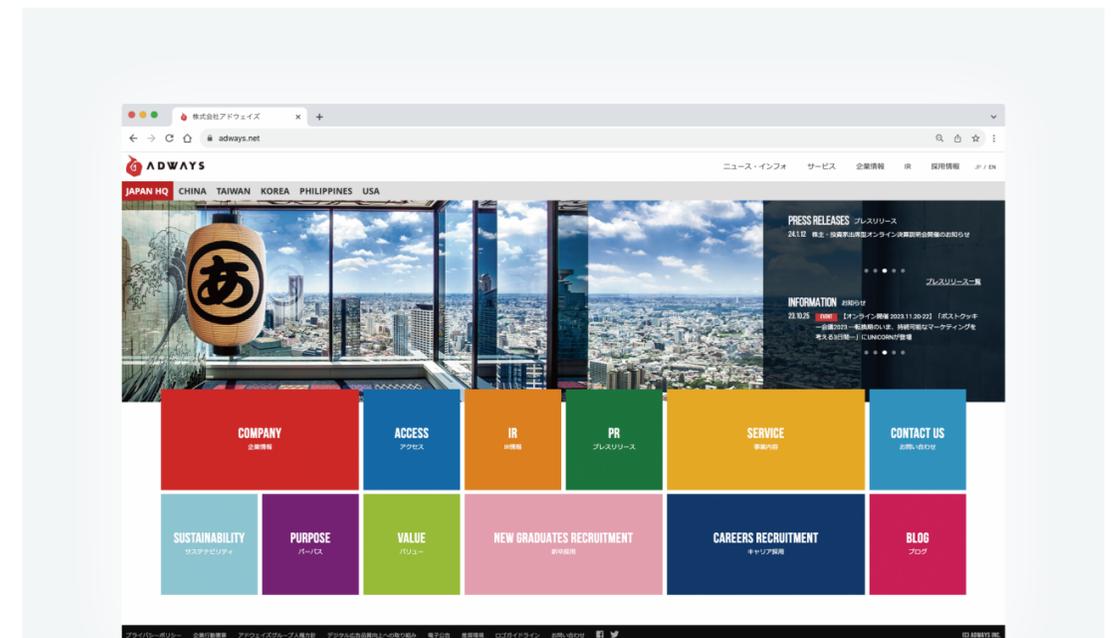
社名	株式会社アドウェイズ
本社所在地	〒160-0023 東京都新宿区西新宿五丁目一番一号 住友不動産新宿ファーストタワー5階 TEL.03-6771-8510(代表) / FAX.03-6771-8518
設立	2001年2月28日
資本金	1,716百万円(2023年12月31日現在)
従業員数	1,153名(2023年12月31日現在)
事業内容	インターネット広告事業・関連事業



ADWAYS
IR CHANNEL

役員(2024年3月26日現在)

代表取締役社長	山田 翔
取締役会長	岡村 陽久
取締役	野田 順義
取締役	鹿野 晋吾
取締役	中山 祐太
社外取締役	伊藤 浩孝
社外取締役	平田 和子
社外取締役	梅本 翔太
社外取締役	岡田 恵利子
常勤監査役	永久保 智宏
監査役	鶴川 正樹(公認会計士)
監査役	角田 智美(弁護士)
上席執行役員 インフルエンサー事業担当	西岡 明彦
上席執行役員 管理担当	田中 庸一
上席執行役員 アドプラットフォーム事業担当	田村 鷹正
執行役員 アドプラットフォーム事業担当	齋藤 弘樹
執行役員 コミュニケーションデザイン担当	遠藤 由依



当社ウェブサイトのご紹介
最新のニュースリリースやIR情報などを掲載しています。
ぜひご覧ください。
<https://www.adways.net/>